



## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 製品の名称    | : アンビション アルガ        |
| 供給者の会社名称 | : バイエルクロップサイエンス株式会社 |
| 住所       | : 東京都千代田区丸の内 1-6-5  |
| 担当部門     | : 生産本部              |
| 電話番号     | : 03-6266-7419      |
| ファクシミリ番号 | : 03-5219-9735      |
| 整理番号     | : 102000036884      |
| 推奨用途     | : 肥料 (家庭園芸用複合肥料)    |
| 使用上の制限   | : 推奨用途以外には使用しないで下さい |

## 2. 危険有害性の要約

|           |  |
|-----------|--|
| 化学品のGHS分類 | : 分類基準に該当しない                                   |
| 分類実施日     | : 2022. 2. 23、JIS Z 7253/GHS分類マニュアル (改訂6版) を使用 |
| GHSラベル要素  | : 供給/使用のための危険有害性の表示は必要ない                       |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

| 成分名称名     | 保証成分量 (%) | 官報公示整理番号 |     | CAS RN |
|-----------|-----------|----------|-----|--------|
|           |           | 化審法      | 安衛法 |        |
| 窒素全量      | 0.6       | 非開示      | 非開示 | 非開示    |
| 内アンモニア性窒素 | 0.6       | 非開示      | 非開示 | 非開示    |
| 水溶性加里     | 0.8       | 非開示      | 非開示 | 非開示    |
| 水溶性ほう素    | 2.30      | 非開示      | 非開示 | 非開示    |

「成分名称名」「保証成分量」は、日本国内の「肥料の品質の確保等に関する法律」に基づいた表記

## 危険有害成分

| 化学名又は一般名           | 濃度又は濃度範囲 (%) | 官報公示整理番号 |     | CAS RN     |
|--------------------|--------------|----------|-----|------------|
|                    |              | 化審法      | 安衛法 |            |
| 十三酸化二ナトリウム八ほう素四水和物 | 3.85         | -        | -   | 12280-03-4 |
| 酸化亜鉛               | 1.50         | (1)-561  | -   | 1314-13-2  |
| 塩化カリウム             | 0.75         | 1-228    | -   | 7447-40-7  |

## 4. 応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受ける。                                 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。                         |
| 眼に入った場合   | : 清浄な水で15分以上洗眼すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合   | : 意識のある場合は吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。吐き出すことが困難な場合は無理に吐き出させようとはならない。                                 |

## 5. 火災時の措置

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 適切な消火剤      | : 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など |
| 使ってはならない消火剤 | : データなし                  |



- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼時には有毒ガス発生のおそれがある。  
消火活動を行う者の保護具 : 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。  
及び予防措置

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。  
環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 床面などにこぼれた場合は直ちに拭きとり密閉容器に収納する。  
二次災害の防止策 : 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 熱や発火源から遠ざける。  
局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行うこと。  
安全取扱注意事項 : 開封されていない包装/容器を取り扱うときは特に注意する必要はない。関連するマニュアルハンドリングのアドバイスを従うこと。十分な換気を確保する。  
接触回避 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。汚れた衣服が洗濯できない場合は、廃棄(焼却処理)をすること。

### 保管

- 技術的対策 : 乾燥した5~35℃の場所で保管する。  
混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
安全な保管条件 : 納品時の容器でのみ保管する。乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。保管場所には、許可された者のみが出入りする。凍結から守る。直射日光を避ける。食品と区別して換気の良い場所で保管する。  
安全な容器包装材料 : 他の容器に移し替えて保管しないこと。  
特定の最終用途 : ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : ACGIH 設定されていない  
日本産業衛生学会 設定されていない  
設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。

### 保護具

- 通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。  
それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます。  
呼吸器の保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。  
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。  
手の保護具 : 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。  
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、ト



- イレの前には手をしっかり洗うこと。  
 材質 ニトリルゴム  
 透過度 > 480 min  
 手袋の厚さ > 0.4 mm  
 指令 EN374に準じた防護手袋。
- 眼、顔面の保護具 : 欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び体の保護具 : 標準的なつなぎの作業着とカテゴリ3タイプ6の化学防護服を着用すること。  
 重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。  
 可能であれば、2層の衣類を着用すること。 ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

### 9. 物理的及び化学的性質

|                   |  |
|-------------------|--|
| 物理的状态             | : ゲル                                   |
| 色                 | : 褐色                                   |
| 臭い                | : データなし                                |
| 融点/凝固点            | : データなし                                |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲     | : データなし                                |
| 可燃性               | : データなし                                |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | : データなし                                |
| 引火点               | : データなし                                |
| 自然発火点             | : データなし                                |
| 分解温度              | : データなし                                |
| pH                | : 約 5.5 (20 °C)<br>約 7.2 (1 %) (20 °C) |
| 動粘性率              | : データなし                                |
| 溶解度               | : データなし                                |
| n-オクタノール/水分配係数    | : データなし                                |
| 蒸気圧               | : データなし                                |
| 密度及び/又は相対密度       | : 約 1.14 g/cm <sup>3</sup> (20 °C)     |
| 相対ガス密度            | : データなし                                |
| 粒子特性              | : データなし                                |

### 10. 安定性及び反応性

|            |                  |
|------------|------------------|
| 反応性        | : データなし          |
| 化学的安定性     | : 通常の取扱い条件において安定 |
| 危険有害反応可能性  | : データなし          |
| 避けるべき条件    | : 高温、直射日光        |
| 混触危険物質     | : アルカリ性物質        |
| 危険有害な分解生成物 | : 塩化水素           |

### 11. 有害性情報

|                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 急性毒性             | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 皮膚腐食性/刺激性        | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性    | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 生殖細胞変異原性         | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 発がん性             | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 生殖毒性             | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)  | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)  | : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。 |



誤えん有害性

: 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水産動植物に対する影響 : 入手可能なデータによれば、区分に該当しない。

残留性・分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を含まない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装 : 肥料の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 該当しない

航空規制情報 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

国内規制

陸上規制情報 : 該当しない

海上規制情報 : 該当しない

航空規制情報 : 該当しない

応急措置指針番号 : 171

特別安全対策 : 包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

## 15. 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律 : 登録番号 輸第106606号

消防法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 第57条の2第1項名称等の通知対象物質 酸化亜鉛 1.5 %  
第57条第1項名称等の表示対象物質 酸化亜鉛 1.5 %

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

化学物質管理促進法 (PRTR) : 該当しない

## 16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の実施を前提とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。